

## 平成 22 年度 NPO 等活動支援団体と推薦理由

平成 22 年 5 月 26 日に開催された「第 10 回 NPO 等活動支援選定委員会」において、下記の 7 団体を支援することが決定いたしました。推薦理由(抜粋)は以下の通りです。

NO	団体情報	推薦理由(抜粋)
1	<p>【団体名称】NPO 法人おきなわ環境クラブ</p> <p>【代表者名】下地 邦輝</p> <p>【事業名称】国場川下流右岸における地域で取り組む水辺植生の再現と学習プログラムの開発</p> <p>【会員数】35 人</p> <p>【活動分野】環境の保全</p> <p>【事業内容】 これまでの漫湖での活動をもとに、この地域にふさわしい、そして楽しい自然と環境の学習プログラムを開発し、外来種が繁茂する現状から沖縄にもともとある水辺の植生の復元を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 植生調査: 通年</li> <li>2. 草刈、ギンネム除去: 通年</li> <li>3. 苗育成、ワークショップ: 奇数月</li> <li>4. プログラム開発: 1 月</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全を目的とした事業、また、持続可能な実施体制の構築も視野に入れ、学習プログラムの開発に取り組む提案は、他の団体の参考にもなると考えられる。</li> <li>・ 年間を通じた調査活動が計画されており、モデル事例としてのプログラム開発、他地域への普及も考慮されており、支援効果が大きい。</li> <li>・ 活動実績もあり、水辺緑化と維持管理のモデルとして評価できる。</li> <li>・ 裾野の広い活動としての水辺の環境教育。専門的な知識に基づいたプログラムで信頼性が高い。</li> <li>・ 水辺の緑化や教育プログラムで他地域への波及効果が期待できる。ギンネムの除去や在来植生の植樹は自然再生にもつながる。</li> </ul>
2	<p>【団体名称】特定非営利活動法人うらおそい歴史ガイド友の会</p> <p>【代表者名】仲間 孝藏</p> <p>【事業名称】うらおそい子供歴史ガイド養成講座</p> <p>【会員数】41 人</p> <p>【活動分野】地域づくりの推進</p> <p>【事業内容】 浦添城・ようどれ探検は、毎年参加者が増加しており市内の小中学生に無料開放しているようどれ館の利用者数も増えている。このような中、子どもには子どもの感性で説明した方がより効果があると考え、子供ガイドを養成する事業を行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初回講座開始: 6 月</li> <li>2. 実地研修(首里城、浦添城): 7 月、9 月</li> <li>3. 講座終了: 10 月</li> <li>4. 検定試験: 10 月</li> <li>5. 子供ガイドデビュー: 11 月</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが地域の自然や歴史について地域の大人たちと一緒に勉強し、その成果を活かして地域情報を伝えるガイド役が担えるようになるための事業は有意義である。</li> <li>・ ガイド役としての「子どもたち」の潜在能力に着目し、子ども自身の成長とともに周りへの波及を狙った効果的な取り組みとして評価できる。</li> <li>・ 地域の文化財を中心に、幅広い年代の住民が交流を深め、地元への理解と誇りを育成していく活動が評価できる。</li> <li>・ 地元の歴史を学ぶことにより地域への愛着と誇りをもつことができるなど、子ども達の育成に役立つ活動である。</li> </ul>

3	<p>【団体名称】NPO 法人地域サポートわかさ</p> <p>【代表者名】早川 忠光</p> <p>【事業名称】若狭地域文化祭 (こども地域通貨でまちづくり)</p> <p>【会員数】26 人</p> <p>【活動分野】地域づくりの推進</p> <p>【事業内容】 若狭地区の秋の定例行事となっている「若狭地区文化祭」は、近年地域の小学生らが企画提案をし、広報活動にも主体的にかかわっている。今年度は地域の各機関と連携し、地域ボランティア活動に参加した子ども達に対価として地域通貨「ちっぴる」を支払う。「ちっぴる」は文化祭でバザー商品の購入などに使用できるものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都心部の地域コミュニティの衰退は激しく、その再生のために小学校区域で地域住民を巻き込んでまとまりのあるイベント開催は有意義である。</li> <li>・ 地域自治会、近隣保育所等と連携した文化祭の実施を計画しており、これまで 13 年間の実績あり。新たに「こども地域通貨」の導入により活性化検討。事業の継続性も期待できる。</li> <li>・ 児童の主体的参加をうながす仕組みを組み込んでいる活動としてすぐれている。地域通貨の導入の方法も無理がなく感心できる。</li> <li>・ 青少年の育成及び地域の連帯を図ることができ、地域づくりに有効である。また、「こども地域通貨」をとおして、子ども達にボランティア精神と働く意欲を育てることができる。</li> </ul>
4	<p>【団体名称】特定非営利活動法人沖縄の風景を愛さす会</p> <p>【代表者名】池田 孝之</p> <p>【事業名称】沖縄の風景づくりのための地域力認定講座</p> <p>【会員数】26 人</p> <p>【活動分野】地域づくりの推進</p> <p>【事業内容】 沖縄の風景づくりに関心のある市町村を対象に、地域の市民、住民、企業、行政担当者が景観に関する企画、調査、計画、実施に係る知識や技術等の能力向上を目指した「地域力認定講座」を実施し、修了者にはNPOによりその地域力を認定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風景・景観は、沖縄の重要な観光資源であり、風景づくりに関する地域の意識向上と官民の人づくりに取り組む本提案は、沖縄の観光振興を図っていく上で有意義であると考えられる。</li> <li>・ 通常の講演会・シンポジウムから一歩踏み出した取り組みとして評価できる。</li> <li>・ 沖縄観光の魅力は気候や食事はもとより、自然や景観の美しさがあげられるが、近年の乱開発によって失われつつある。地域の人達が足下の財産に気づき、保全への意識を育てることが、今後の大きな課題といえる。</li> <li>・ 風景、景観に対する住民等の意識の向上、コーディネーターの育成等景観施策の推進に寄与する。</li> </ul>
5	<p>【団体名称】沖縄リサイクル運動市民の会</p> <p>【代表者名】古我知 浩</p> <p>【事業名称】ごみ減量体験学習プログラム「買い物ゲーム」スタッフ養成</p> <p>【会員数】34 人</p> <p>【活動分野】環境の保全</p> <p>【事業内容】 1999 年に会独自で開発した子ども達が買い物を体験しながら過剰包装や包装素材の違い、ゴミ処理費用などに気づき、楽しみながら学習するロールプレーゲームが「買い物ゲーム」である。今</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上級スタッフ養成、スタッフスキルアップ経費として申請。スタッフ養成後は、小学校での啓発活動員として活動を計画。今後の活動につながる。</li> <li>・ 買い物ゲームはすぐれた環境教育の教材であり、さらに普及していくために、必要な助成になる。</li> <li>・ ゴミ問題は島嶼県である沖縄にとっては深刻で、ゴミの減量や、効率的なりサイクル活動は、今後、持続可能な社会を作る上で欠かせない。この活動は、環境教育、人材育成等に役立ち、支援効果に期待できる。</li> </ul>

	<p>や買い物ゲームは全国、海外でも実施して欲しいと引く手あまたのゲームに成長した。一度の実施には4名のスタッフが必要となり、現在30人のスタッフがローテーションで実施しているが人手不足である。全国、世界各国からの要望に応えられる上級スタッフを養成したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「買い物ゲーム」は今や沖縄発の環境教育として、全国や海外の学校現場にも広がりを見せている。県内でも草分けといえる長い活動の中で、現場の発想に基づいて作られたすぐれたプログラムであり、さらに広げていって欲しい。</li> </ul>
6	<p>【団体名称】「環境から健康を考える会」エコット  【代表者名】諸見 みどり  【事業名称】おじーおばーからわらばーたーまで  みんなで削減『CO！』  【会員数】20人  【活動分野】環境の保全、地域づくりの推進  【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウルルレンジャー事業：環境省エコキッズクラブに登録し、地域の環境保全活動等を行う。</li> <li>2. 緑のカーテン事業：事業所や家庭に緑を増やすため、苗を寄付し、設置の手伝いを行い、成長や管理のアドバイスなどで関わる。その他、究極の地産地消事業や、読み聞かせ事業等。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の身近な生活の中で環境保全の重要性をおのずから身につけていけるように取り組んでいくことは非常に大切である。</li> <li>・ 楽しみながら環境活動を行っている団体として注目したい。緑のカーテン、絵本作成と読み聞かせなど、身近な活動として評価したい。</li> <li>・ コツコツと継続してきた活動が成果を表し始めていることは素晴らしい。更なる継続と裾野の広がりを期待したい。</li> <li>・ 緑のカーテンや、地産地消の活動をとおして、子ども達に環境と健康を考える機会を与えることができる。地域に緑のカーテンが増えることで、COの削減にもつながる。</li> </ul>
7	<p>【団体名称】NPO 法人やんばる・地域活性サポートセンター  【代表者名】比嘉 明男  【事業名称】カーサレー協働作業による川の再生事業  【会員数】19人  【活動分野】環境の保全  【事業内容】</p> <p>方言で「カーサレー」と呼ばれる川の整備作業をとおして、持続可能な自然再生活動と、地域の活性化を図ることを目的に以下の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然の多面的機能と歴史・文化及び生活をテーマとした講演会の開催。</li> <li>2. カーサレー協働作業(川の整備作業)の実施。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティが失われつつある過疎地域の自然環境保全と地域再生を、地域の人びとを巻き込み進めていくこと、さらに北部地域に広げていこうという想いは大きな意義を有するものである。</li> <li>・ 地域の川の整備作業をきっかけに、地元の結びつきや自然との関わりを再生していこうという活動は期待できる。</li> <li>・ 伝統を復活させながら自然を再生させる事業の内容はよい。</li> </ul>